

取扱いの趣旨

ベタメタゾン吉草酸エステルは、蕁麻疹診療ガイドラインにおいて、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが、副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とあるため、じんま疹等に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和6年5月31日》

165 ベタメタゾン吉草酸エステルの算定について

○ 取扱い

次の傷病名に対するベタメタゾン吉草酸エステル（リンデロン-V軟膏0.12%）の算定は、原則として認められない。

(1) じんま疹 (2) 慢性じんま疹 (3) 乾皮症、皮脂欠乏症

○ 取扱いを作成した根拠等

じんま疹は、真皮又は皮下組織の毛細血管が拡張し、同時に血管から血漿成分（水分）が漏れ出して膨らむことにより、皮膚に一過性、限局性の膨疹、紅斑及び瘙痒が生じる疾患であり、食物や薬剤等原因が明らかなものと明らかな原因がなく繰り返し症状が出現する特発性のものがある。

特発性のものは、1か月以内に症状が消失するものを急性じんま疹、1か月以上症状が継続するものを慢性じんま疹と分類している。治療には薬物療法の第一選択として第2世代の抗ヒスタミン薬を使用する。ステロイド外用薬の使用は、蕁麻疹診療ガイドライン2018において、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが、副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とされている。

乾皮症（皮脂欠乏症）は、皮膚表面を覆う皮脂の減少により皮膚が乾燥する疾患であり、治療には保湿剤を使用する。保湿剤による治療にもかかわらず増悪して湿疹化した場合は、ステロイド外用薬等の抗炎症薬を用いた治療を併用することがあるが、乾皮症や皮脂欠乏症に対する、ステロイド外用薬投与の必要性は低いと考えられる。

ベタメタゾン吉草酸エステル（リンデロン-V軟膏0.12%）は、皮膚外用合成副腎皮質ホルモン剤（軟膏）（ステロイド外用薬）である。以上のことから、上記(1)から(3)の傷病名に対する本剤の算定は、原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	山口、大分、秋田、鹿児島、宮城、長崎、岐阜、北海道、埼玉、兵庫、奈良、福岡、山梨、岡山、高知	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	大分、岐阜、長崎、山口、山梨、埼玉、岡山、秋田、福岡、北海道、奈良、兵庫、宮城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	鹿児島、秋田、奈良、宮城、兵庫、埼玉、北海道、山口、高知、福岡、岡山	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、皮膚感染症や二次感染を併発しており、当該薬剤の効能効果や薬理作用から、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年7月審査分

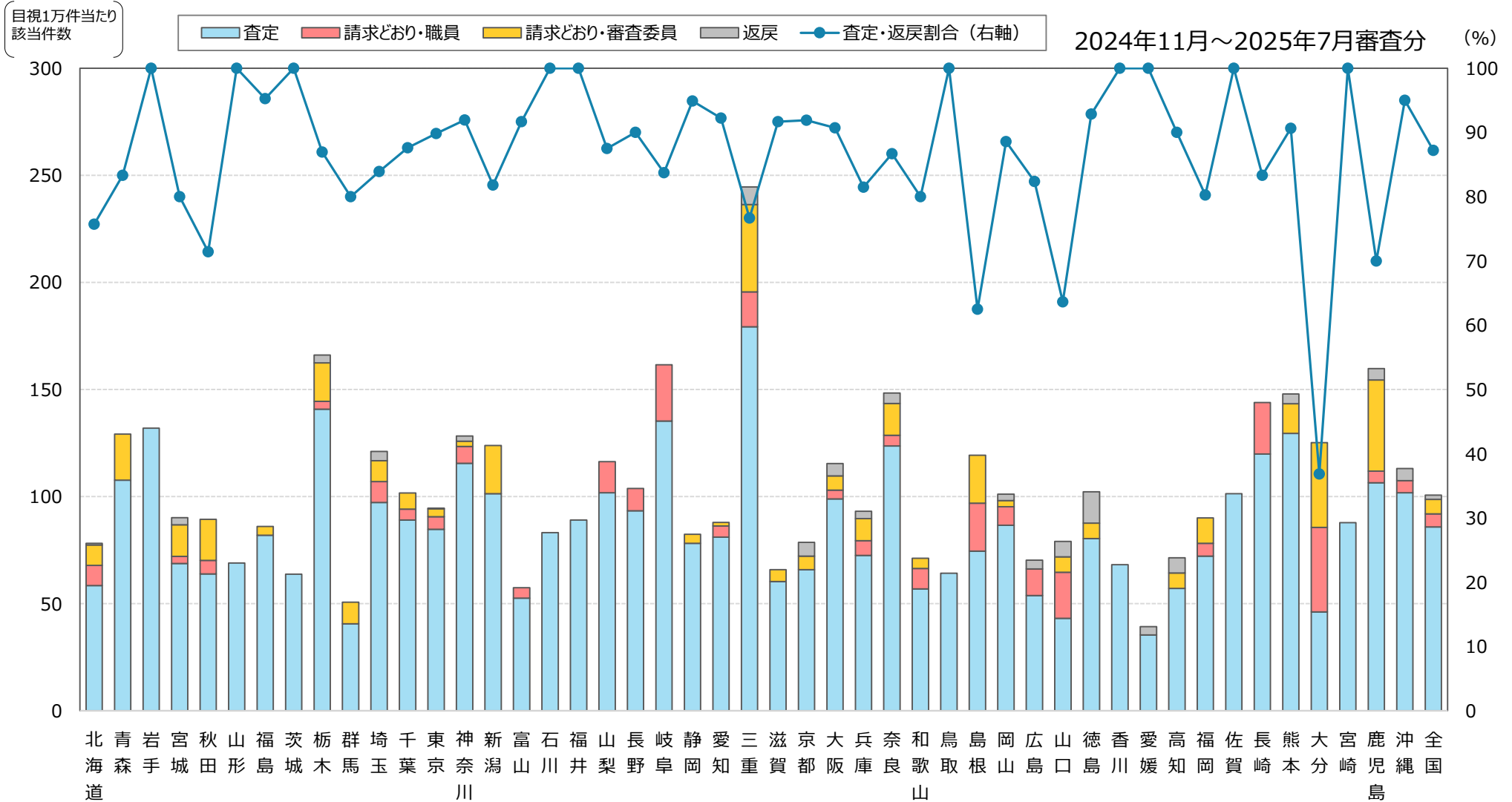
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,221件のうち、**取扱いと異なる審査は126件（5.67%）**
検証対象23都道府県のうち、**フォローアップ対象は15都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	107	90	84.11%	80	1	81	9	17	15.89%	7	10
02 青森	12	11	91.67%	10	0	10	1	1	8.33%	0	1
03 岩手	17										
04 宮城	55	45	81.82%	42	2	44	1	10	18.18%	1	9
05 秋田	14	10	71.43%	10	0	10	0	4	28.57%	1	3
06 山形	7										
07 福島	21										
08 茨城	24										
09 栃木	46	43	93.48%	39	1	40	3	3	6.52%	1	2
10 群馬	15										
11 埼玉	112	96	85.71%	90	4	94	2	16	14.29%	9	7
12 千葉	121	116	95.87%	106	0	106	10	5	4.13%	1	4
13 東京	334	325	97.31%	299	1	300	25	9	2.69%	7	2
14 神奈川	211										
15 新潟	11										
16 富山	12										
17 石川	25										
18 福井	8										
19 山梨	8	7	87.50%	7	0	7	0	1	12.50%	1	0
20 長野	40	39	97.50%	36	0	36	3	1	2.50%	1	0
21 岐阜	43	36	83.72%	36	0	36	0	7	16.28%	7	0
22 静岡	39										
23 愛知	103										
24 三重	30	29	96.67%	22	1	23	6	1	3.33%	1	0

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	12										
26 京都	37										
27 大阪	280										
28 兵庫	81	70	86.42%	63	3	66	4	11	13.58%	3	8
29 奈良	30	26	86.67%	25	1	26	0	4	13.33%	1	3
30 和歌山	15	14	93.33%	12	0	12	2	1	6.67%	1	0
31 鳥取	3										
32 島根	16	16	100.00%	10	0	10	6	0	0.00%	0	0
33 岡山	35	31	88.57%	30	1	31	0	4	11.43%	3	1
34 広島	17										
35 山口	11	7	63.64%	6	1	7	0	4	36.36%	3	1
36 徳島	14										
37 香川	8										
38 愛媛	10										
39 高知	10	9	90.00%	8	1	9	0	1	10.00%	0	1
40 福岡	76	66	86.84%	61	0	61	5	10	13.16%	5	5
41 佐賀	14										
42 長崎	24	20	83.33%	20	0	20	0	4	16.67%	4	0
43 熊本	32										
44 大分	19	13	68.42%	7	0	7	6	6	31.58%	6	0
45 宮崎	12										
46 鹿児島	30	24	80.00%	20	1	21	3	6	20.00%	0	6
47 沖縄	20										
全国	2,221							126	5.67%	63	63

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	107	12	17	55	14	7	21	24	46	15	112	121	334	211	11	12	25	8	8	40	43	39	103	30	12	37	280	81	30	15	3	16	35	17	11	14	8	10	10	76	14	24	32	19	12	30	20	2,221
請求どおり件数	26	2	0	11	4	0	1	0	6	3	18	15	34	17	2	1	0	0	1	4	7	2	8	7	1	3	26	15	4	3	0	6	4	3	4	1	0	0	1	15	0	4	3	12	0	9	1	284

【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数